

県内野菜残渣の乳牛飼料化に向けた調査研究（R7新規課題：R7～10）

現状と問題点

○飼料費高騰が酪農経営を圧迫

【飼料費】

468千円（H24）⇒544千円（R3）

【生乳売上】

933千円（H24）⇒1,000千円（R3）

（農林水産省「畜産物生産費」より
搾乳牛1頭/年あたり）

生乳価格上昇以上に飼料費上昇

○県内で増加する野菜残渣

大規模園芸と新規集荷場稼働による野菜残渣量の増加

課題

飼料費の低減、野菜残渣の処理



県内選果場で発生する 野菜残渣の飼料化

内容

1. サトイモ皮残渣の飼料化の検討

○ 原材料分析

○ サイレージ利用の可能性と長期保存性の検討

【試験項目】発酵品質、長期保存性



サイレージ調製条件を決定

○ 乳牛生産性への影響

【試験項目】給与上限、嗜好性、
健康状態、生乳生産性

2. 他野菜残渣の飼料化

サトイモ以外の野菜残渣の飼料化を検討



結果

野菜残渣（廃棄物）が低コスト
乳牛用飼料（資源）に変化

期待される効果

◎飼料コストの低減化

野菜残渣サイレージ利用により
配合飼料費低減

→飼料の1割代替で

23千円/頭/年 コスト低減

⇒ 農家の経営安定

◎選果場野菜残渣の有効利用

野菜残渣（廃棄物）の有価値
（資源）化

⇒ SDGsに貢献